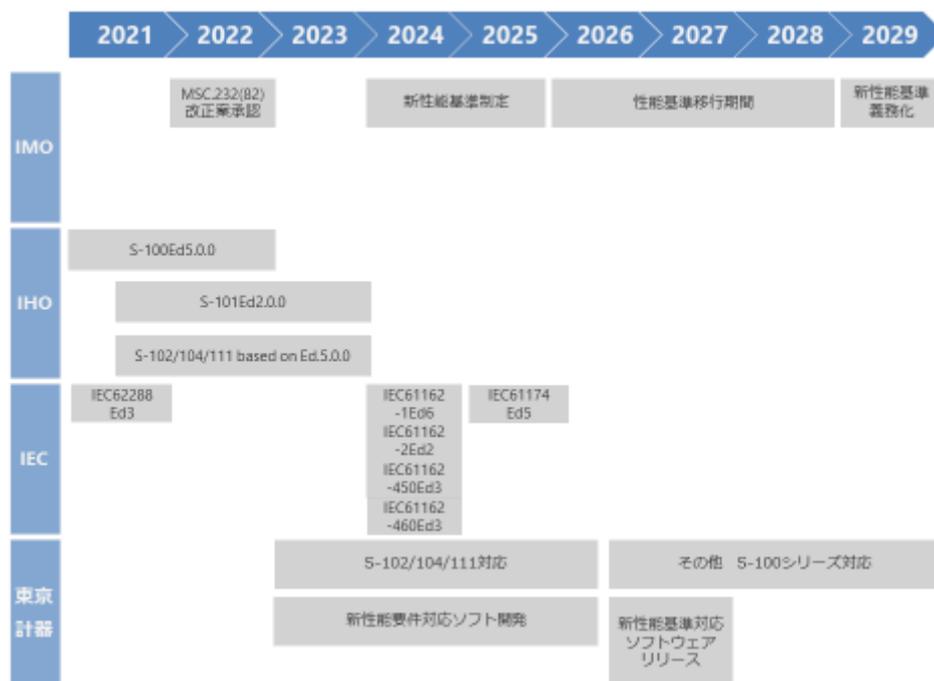


### S-100 シリーズの製品化対応

牧野 隆充（東京計器株式会社）

現行の ECDIS は 2006 年 12 月に採択された ECDIS の性能基準(IMO 決議 MSC.232(82)) に準拠している。2022 年 6 月に開催された第 9 回航行安全・無線通信・捜索救助小委員会（NCSR9）にて、次世代の電子航海用海図（S-101 ENC）の導入を可能にするため、IHO の製品仕様 S-98、S-100、S-101 を現在の性能基準に含める MSC.232(82)の改訂案が確定された。2022 年 11 月に開催される第 106 回海上安全委員会（MSC106）に提出され、承認・採択される予定である。改訂された性能基準は、2029 年 1 月 1 日以降に装備される ECDIS に義務化される予定で、移行期間となる 2026 年 1 月 1 日から 2029 年 1 月 1 日までは、現行の性能基準または新たに導入される性能基準のいずれかに適合することができる。これにより S-57 と S-101 の ENC の処理が同時に要求されることはなくなり、両方の ENC を同時に処理する「Dual Fuel ECDIS」の要求はなくなったことになる。

この性能基準の改訂に合わせて、S-100 シリーズに対応した新型 ECDIS を 2026 年を目途にリリース予定である。本稿では、同 ECDIS における S-100 シリーズ対応予定を IEC の規格改訂対応を交えて紹介する。また、同 ECDIS のベースとなる 2022 年 4 月にリリースした最新 ECDIS EC-9000 シリーズを簡単に紹介する。



<EC-9000 の S-100 シリーズ対応ロードマップ>